

農地利用最適化推進委員の募集に係る申込者の情報(受付順)

団体による推薦

【令和8年3月13日現在】

| 被推薦者(推薦を受ける者) | | | | | | | | 推薦者 | | | | | | | |
|--------------------|----|----|------------|--|--|-----------------|--------|----------------|---------------|-------------|--------|--------------------|----------|------------------------|--|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 推薦区域 | 農業委員への推薦・応募状況 | 名称 | 代表者の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員の数(人) | 構成員の資格・要件 | 推薦理由 |
| | | | | 年月日 | 職名・経歴等 | 営農類型 | 耕作面積等 | | | | | | | | |
| ヨシザワ ユキヒコ 吉澤 幸彦 | 男 | 50 | 農業 | 2000年4月～ 2009年6月～ 2000年4月～ | 25歳で就農 鹿子畑上地区集落営農組合員 JALおのや喜連川稲作部会員、現在副部長 | 水稲、その他(一般麦・採種麦) | 1,095a | 鹿子畑 | 推薦していない | 鹿子畑行政区 | 遠藤秋雄 | 住民と行政の連絡調整、地域活動の推進 | 140 | 鹿子畑行政区内に住所を有する者 | 吉澤幸彦氏は、大学卒業後3年ほど会社員を経験したのち、25歳で両親のもとへ就農されました。就農後は、農業に関する技術・知識・経営ノウハウ等の習得のために、地元JAの稲作部会や麦種子生産部会、受託組合、青年部に積極的に加入するなど、農業に対して非常に意欲的に取り組まれている方です。平成21年に設立された鹿子畑上地区集落 営農組合では、設立当初から若手組合員として加盟し、地域農業者の高齢化や担い手不足、遊休農地減少に向けた取り組みに努力され、平成28年には組合として環境保全型農業への取り組みを提案するなど組合の運営に大いに貢献されています。また、鹿子畑上地区資源保全会の設立・運営においても中心的な存在となっております。鹿子畑行政区においては、就農と同時に鹿子畑の消防団へ入団し、現在もお消防団活動を継続し、地域の防災活動や後輩の指導育成にあたるなど、農業従事者だけでなく、地域住民からも厚く信頼される存在となっております。なお、現在、吉澤幸彦氏は、両親と3人で農業を営んでいますので、吉澤幸彦氏が委員に任命されたとしても、自らの農業経営に支障をきたすことなく、委員の業務を遂行できる状況であります。25年にわたる農業経験によって培われた知識の豊富さ、農業に対する意欲的な取り組み状況、地理的な地域課題の把握、公平・公正な判断力、地域環境に対する高い意識等を持ち合わせている吉澤幸彦氏は、鹿子畑行政区役員会の検討・協議の結果、農地利用最適化推進委員に適任であると決定したことから推薦いたします。 |
| オオハシカツヨ 大橋 克世 | 男 | 70 | さくら市会計年度職員 | 昭和53年3月18日 昭和53年4月1日～平成28年3月31日 平成28年6月1日～ | 宇都宮大学農学部農業開発工学科卒業 栃木県庁農政部(主に土地改良事業) さくら市農政課農政係 | 水稲、露地野菜・施設野菜 | 560a | 谷中、根本、八方口、鍛冶ヶ澤 | 推薦していない | 鍛冶ヶ澤農地環境保全会 | 豊岡恒夫 | 農地維持と地域資源の向上 | 39 | 本会に参加している農業者(協定者)及び非農家 | 大橋克世氏は、栃木県農政部の職員として、定年退職までの38年間、土地改良事業、特に圃場整備事業及び換地業務、農地集積事業に主に携わっていらしたので、農地の権利関係の処理調整には経験が豊富であり適任者と思われるので推薦いたします。大橋克世氏は、現在、さくら市農政課で約10年間、農地流動化推進員として農地中間管理事業に係る業務に携わっており、以前から農業者の高齢化や担い手不足により、市内の農地の遊休化が進んでいることに危機感を抱き、現状改善に強い意欲を示しております。大橋克世氏は、長男・妻・母親の4人で農業経営を営んでいますが、家族の健康状態は良好であり、尚且つ、長男は後継者として農業に専従していることから、大橋克世氏が委員に任命されたとしても、自らの農業経営に支障をきたすことなく、委員の業務を遂行できる状況にあります。以上、大橋克世氏は、委員に適任であることから推薦いたします。 |
| ヒライデ ユキオ 平出 行男 | 男 | 57 | 農業 | 6.3.1～ H5.4.1～ H23.4.1～ | JALおのや和牛繁殖部会 副部長 農業 南部第2稲作営農組合 組合長 | 水稲、その他(和牛繁殖) | 1,800a | 采女、氏家新田 | 推薦していない | 采女行政区 | 吉澤昭栄 | 自治会の運営 | 53 | 采女行政区内に住所を有する者 | 平出行男氏は誠実な性格で周囲からの信頼も厚く地域のリーダー的存在として長年農業に従事されており、農業に関する知識も豊富であり意欲的に取り組まれている方です。現在、JALおのや和牛繁殖部会の副会長として部会の業務運営にも大きく寄与している。また、南部第2稲作営農組合の代表としても、地域の担い手不足の中、農地の利用権設定や作業受託を通じて積極的に対応されており、地域において中心的役割を果たされている。以上、行政区役員により検討した結果、委員として適任な人材である事から推薦いたします。 |

農地利用最適化推進委員の募集に係る申込者の情報(受付順)

団体による推薦

【令和8年3月13日現在】

| 被推薦者(推薦を受ける者) | | | | | | | | 推薦者 | | | | | | | |
|-------------------|----|----|-----|--|--|--------------------|--------|--------------------------|---------------|---------|--------|-------------------------------------|----------|------------------------|---|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 推薦区域 | 農業委員への推薦・応募状況 | 名称 | 代表者の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員の数(人) | 構成員の資格・要件 | 推薦理由 |
| | | | | 年月日 | 職名・経歴等 | 営農類型 | 耕作面積等 | | | | | | | | |
| イノウエ マモル 井上 守 | 男 | 66 | 無職 | S53.4.1～R2.3.31 R2.4.11～R4.4.10 R4.4.10～R6.4.7 | 宇都宮市役所 主任 大中行政区副区長兼会計 大中行政区区長 | - | - | 大中、向河原、 富野岡、草川 北草川 | 推薦していない | 大中行政区 | 和氣 忠夫 | 構成員相互の連絡、区域内環境整備等を行うことによる住みやすい地域づくり | - | 大中行政区内居住者(世帯) | 井上守氏は、令和2年度及び令和3年度の2年間大中行政区副区長兼会計を、令和4年度及び令和5年度の2年間大中行政区区長を歴任し、在任中は域内世帯・住民や 域内環境の現状把握に努め、的確に対応してきた方です。 井上氏は、宇都宮市職員を務めながら、父が営む農業(稲作約2ヘクタール)の繁忙期には田植え、収穫作業等に積極的に取り組んできました。 平成21年からは父の健康上の理由により稲作は行わなくなりましたが、さくら市 内の農業経営者に農地を貸し、耕作は継続されています。 令和5年からは、大中地内において高齢化や企業等勤務を要因とした担い手不足により、耕作放棄農地が増えつつあることを憂慮し、率先してその耕起作業に従事するほか、令和6年5月に発足した『大中環境保全会』の構成員の一人として、定期的な 域内農道や用水路沿いの草刈などの共同作業に従事しています。 なお、域内で数年前から耕作されていなかった農地(遊休農地)についても、今年度から域外の農業経営者が水稲作付けに取り組み、ほとんどの水田が本来の役割を果たしており、井上氏は、現在の状態が継続することを願っています。 現在の井上氏と農業・農地との関りは上記のとおりであり、農地利用最適化推進委員に任命されても、なんら支障をきたすことなく、農地利用最適化推進委員の業務を遂行できる状況にあります。 以上のような井上氏について、大中行政区内の農業経営者及び農地保有者との協議(区長の持ち回りによる個別協議)の結果、全員が農地利用最適化推進委員として適任であると認めたので推薦いたします。 |
| ウスイ タケオ 碓氷 健夫 | 男 | 63 | 農業 | S60.4.1～R5.3.31 R5.4.1～R7.3.31 R7.4.1～ | 栃木食糧事務所・関東農政局栃木県拠点 勤務 金枝行政区 生産部副部長 金枝行政区 農政部長(農区長) | 水稲、露地野菜、(加工用さつまいも) | 252a | 金枝 | 推薦していない | 金枝行政区 | 大森勝夫 | 自治会の運営 | 96 | 金枝行政区に住所を有する者 | 碓氷健夫氏は、水稲及び甘藷を栽培し、専業で農業経営を行っています。 現在、金枝行政区の農区長であり、今後は、土地改良区の理事等の推薦も受ける予定にあり、農業に対する知識も豊富で、何事にも積極的に取り組む姿勢が見受けられます。 以上、金枝行政区役員会にて、推進委員に適任であると判断決定し推薦いたします。 |
| トムラ ヨシミツ 戸村 能光 | 男 | 52 | 農業 | H8.4.1～R2.3.31 H13.4～ | 塩野谷農協 就農 | その他(そば) | 2,800a | 上河戸 | 推薦していない | 上河戸自治会 | 小川 圭一 | 区域内の住民相互の交流・連絡・美化・清掃等区域内の環境の整備等 | 111 | 区域内に住所を有する個人等で会費を納めるもの | 戸村能光氏は、平成8年から令和2年まで塩野谷農業協同組合に勤務しており、地元上河戸地区はもとよりさくら市全域の農業事情に精通しております。 また、平成13年からは経営主として農業に従事し、現在はそばを主作目として、地域の耕作者不在の水田などを集約して大規模に経営しております。農業に対する知識も豊富で、農業に対し意欲的、情熱的に取り組んでおります。 このように以前から、農業者の高齢化や担い手により、市内農地の不耕作化、遊休化が進んでいることに危機感を抱き、現状の改善に強い意欲を示すなど、農業振興に取り組む地域のリーダー的存在であります。 現在、母とともに農業経営をしていますが、委員に任命されたとしても、自らの農業経営に支障をきたすことなく委員の業務を遂行できる状況にあります。 以上のことから、上河戸農区役員会並びに上河戸自治会役員会での検討、協議の結果、委員に適任であると決定したことから推薦いたします。 |
| カルベ マサユキ 軽部 正行 | 男 | 66 | 自営業 | S50年4月1日～S53年3月31日 | 栃木県立今市工業高等学校 | 水稲、露地野菜 | 270a | 下河戸 | 推薦していない | 下河戸南行政区 | 花谷 稔 | 自治会の運営 | - | 下河戸南区内に住所を有する者 | 軽部正行氏は、地域の役員も歴任し、在任中は客観的に物事を分析し常に公平な判断を行うなど、地域の信頼を集めている方です。 また、軽部正行氏は、30年以上農業に関する仕事をし、農業に対する知識も豊富で農業に対し、意欲的・情熱的に取り組んでおり、以前から農業者の高齢化や担い手不足により、市内の農地の遊休化が進んでいることに危機感を抱き、現状改善に強い意欲を示す等農業に取り組む地域のリーダー的存在です。 現在、軽部正行氏は、奥様とご子息の3人で農業を営んでいます、軽部正行氏が委員に任命されたとしても、自らの農業経営に支障をきたすことなく、委員の業務を遂行できる状況にあります。 以上のように軽部正行氏は、下河戸南役員会の検討、協議の結果、委員に適任であると決定したことから推薦いたします。 |

農地利用最適化推進委員の募集に係る申込者の情報(受付順)

団体による推薦

【令和8年3月13日現在】

| 被推薦者(推薦を受ける者) | | | | | | | | 推薦者 | | | | | | | |
|--------------------|----|----|------|---|---|---|-------|-----------------|---------------|---------|--------|----------------------------|----------|--------------------|---|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 推薦区域 | 農業委員への推薦・応募状況 | 名称 | 代表者の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員の数(人) | 構成員の資格・要件 | 推薦理由 |
| | | | | 年月日 | 職名・経歴等 | 営農類型 | 耕作面積等 | | | | | | | | |
| サイトウ ヨシヒサ 齋藤 芳久 | 男 | 59 | 農業 | R2年7月20日～現在 | 農地利用最適化推進委員 | 水稲、露地野菜 (主食、飼料米、酒米、さつまいもなど) | 2300a | 柿木澤、上野 | 推薦していない | 柿木澤行政区 | 小堀義明 | 自治会の運営 | 150 | 柿木澤行政区に住所を有する者150人 | 齋藤芳久氏は、6年間さくら市農業委員会農地利用最適化推進委員として地域の役員を歴任し在任中は、客観的に物事を分析し常に公平な判断を行うなど、地域の信頼を集めている方であります。 地域の農業に関する仕事に関しては、その知識も豊富で、農業に対し、意欲的・情熱的に取り組んでおり、以前から農業者の高齢化や担い手不足により、地区内の農地の遊休化が進んでいることに危機感を抱き、現状改善に強い意欲を示す等農業に取り組む地域のリーダー的存在です。 現在、同氏家族の健康状態は良好であり、且つ、後継者も農業に従事してその育成が図られていることから、同氏が委員に任命されたとしても、自らの農業経営に支障をきたすことなく、委員の業務を遂行できる状況にあります。 以上のように同氏は、委員に適任であることから推薦いたします。 |
| ツチヤ タカアキ 土屋 隆昭 | 男 | 59 | 農業 | - | - | 水稲、施設野菜 (稲、春菊) | 625a | 箱森新田、松島 | 推薦していない | 箱森行政区 | 菊地 伸郎 | 自治会運営全般 | 89 | 箱森地区に住居する人 | 土屋隆昭氏は、長年農業に従事し、農業に対し知識も意欲もあり役員一同適任であると認め推薦いたします |
| アキモト セイイチ 秋元 誠一 | 男 | 69 | 会社員 | 49年4月1日～54年2月55年3月～平28年4月～ | 三井造船(株)千葉造船所(株)大塩精工 喜連川土地改良区荒川地区委員・理事 | 水稲 | 250a | 喜連川北・喜連川南・喜連川中央 | 推薦していない | 喜連川南行政区 | 渡辺 誠一 | 市の施政方針に協力し、併せて会員相互の親交を図ること | 352 | 喜連川南区内に住所あり | 秋元さん、喜連川南農区長など歴任し、現在は喜連川土地改良区理事並びに塩野谷農業協同組合集落長の要職にあり在任中は、客観的に物事を分析し常に公平な判断を行うなど、地域リーダーとして信頼を集めている方であります。 また、秋元さんは40数年に亘り兼業農家で仕事し、農業に対する知識も抱負で農業に対し、意欲的・情熱的に強い気持ちで取り組んでいます。 また、秋元は40年以上農業に関する仕事し、農業に対し、意欲的・情熱的に取り組んでおります、市内の農地の遊休化が進んでいることに危機感を抱き、改善に強い意欲を示す等農業に取り組む地域のリーダー的存在です。 秋元さんが推進委員に任命されたとしても、自らの農業経営に支障をきたすことなく、推進委員の業務を遂行できる状況にあります。 以上のように、推進委員に適任であることから推薦いたします。 |
| サトウ マコト 佐藤 慎 | 男 | 50 | 農業 | 6年4月1日～8年3月31日 | 栃木県農業共済組合塩谷支所氏家地区総代 JAしおのや青年部氏家支部長 塩野谷農協トマト部会会長 | 水稲、施設野菜 (トマト、ミニトマト) | 600a | 松山新田、本田 | 推薦していない | 上松山行政区 | 鉢村 哲郎 | 自治会の運営 | 58 | 上松山行政区に住居 | 農家の長男として意欲的情熱的に取り組んでいます。 |
| イトウ モトアキ 伊藤 元明 | 男 | 66 | 専業農家 | 1977年3月～2010年2月～2018年1月 2018年1月～ | 矢板高等学校卒業 兼業農家 2010年より集落営農押上参加 農事組合法人アグリホープ押上 2022年より専業 | 水稲、その他 (那須ひかり、コンヒカリ、とちぎの星、月の光、小麦、大豆) | 1000a | 押上 | 推薦していない | 押上行政区 | 長島 昭一 | 自治会の運営 | - | 押上行政区に住所を有するもの | 農業に対し意欲的情熱的に取り組んでいる。 |
| テツカ アケオ 手塚 暁郎 | 男 | 70 | 農業 | R5年7月20日～7年7月19日 R5年1月1日～7年12月31日 R3年7月31日～ | 農地利用最適化推進委員 水田農業推進委員 JA塩野谷総代 | 水稲 (米穀) | 30a | 馬場 | 推薦していない | 馬場第5行政区 | 伊藤 健次 | 行政活動 | 417 | さくら市在住 | 地域の役員を歴任し信頼ある人柄 |
| ハナツカ マサユキ 花塚 雅之 | 男 | 67 | 農業 | R5年7月～R6年4月～R7年4月～ | 農地利用最適化推進委員 穂積行政区副区長 JAいら部会役員 | 水稲、施設野菜 (いら) | 320a | 穂積 | 推薦していない | 穂積行政区 | 高木 一成 | 自治会の運営 | 500 | 穂積行政区に住所を有するもの | 花塚雅之氏は、県内企業に就職され高齢の両親を助けよう中途退職し家業である農業に即戦力として経営委譲し、現在は稲作、いら栽培に意欲的情熱的に取り組んでおり、以前から農業者の高齢化や担い手不足により地域内の遊休化が進んでいることに危機感を抱いており、現状改善に強い意欲を示しております。 以上のように花塚雅之氏は、委員に適任であることから、推薦いたします。 |

農地利用最適化推進委員の募集に係る申込者の情報(受付順)

団体による推薦

【令和8年3月13日現在】

| 被推薦者(推薦を受ける者) | | | | | | | | | | 推薦者 | | | | | |
|---------------|----|----|----|---|--------------------------------------|---------------------|-------|----------------------------------|---------------|---------|--------|-----------|----------|-----------------|---|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 推薦区域 | 農業委員への推薦・応募状況 | 名称 | 代表者の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員の数(人) | 構成員の資格・要件 | 推薦理由 |
| | | | | 年月日 | 職名・経歴等 | 営農類型 | 耕作面積等 | | | | | | | | |
| ツウラ 津浦 好一 | 男 | 64 | 農業 | 昭和59年4月～令和4年3月 令和4年4月～ | 県職員(河内・芳賀農業振興事務所長等) 農業 | 水稲、露地野菜、果樹(水稲、りんご) | 350a | 穂積 | 推薦していない | 穂積行政区 | 高木 一成 | 自治会の運営 | 500 | 穂積行政区に住所を有するもの | 津浦好一氏は、38年間県職員として農政事業に携わり県の農業発展に尽力されました。定年後は、家業である農業に即戦力として経営委譲し、現在は稲作、りんご栽培に意欲的情熱的に取り組んでおり、以前から農業者の高齢化や担い手不足により地域内の遊休化が進んでいることに危機感を抱いており、現状改善に強い意欲を示しております。 以上のように津浦好一氏は、委員に適任であることから、推薦いたします。 |
| オカダ 岡田 伸幸 | 男 | 40 | 農業 | H2年7月20日～ | 農地利用最適化推進委員 | 水稲 | 2000a | 小入、早乙女 | 推薦していない | 小入行政区 | 黒崎 和孔 | 区長 | 60 | 小入行政区に住所を有するもの | 岡田氏は、15年以上農業に関する仕事に従事し、知識経験が豊富です。以前から営農者の高齢化や担い手の不足により市内農地の遊休化が進んでいることに危機感を抱き、現状改善に意欲を示す等、農業に意欲的、情熱的に取り組む地域のリーダー的存在です。 小入行政区として協議の結果、以上の理由から同人が適任であると判断し、委員候補者として推薦いたします。 |
| ミズカミ 水上 洋 | 男 | 60 | 農業 | 令1年3月～5年2月 令5年3月～ | クオリティスタッフ(株) 代表取締役 兼業農家から専業農家 | 水稲、露地野菜、その他(米、夏野菜他) | 330a | 南和田 | 推薦していない | 南和田行政区 | 郡司 要 | 自治会の運営 | 46 | 南和田行政区に住所を有するもの | 農業に対して意欲的に取り組んでおり専業農家として地域全体のことを見つめ考え現役職を受け農業に専任している人で良い人材であると思いますので推薦します。 |
| タカサイ 高齋 悦夫 | 男 | 72 | 農業 | R2年4月1日～R3年3月31日 | 下新田行政区長 | 水稲、露地野菜 | 97a | 川岸、下新田、古町、伝馬町、本町、仲町、石町、上町、栄町、卯の里 | 推薦していない | 下新田行政区 | 高齋 幸男 | 下新田行政区の運営 | - | - | 行政区の行事等に積極的に参加し、冷静な判断力で皆に親しまれている。 |
| ササヌマ 笹沼 晴夫 | 男 | 69 | 農業 | R5年7月20日～ | 農地利用最適化推進委員 | 水稲 | 1a | 蒲須坂 | 推薦していない | 蒲須坂行政区 | 高柳 勝三 | 自治会活動 | 1000 | 自治会会員である | 問題意識が高く、勤勉、努力家、責任感が強い |
| ナカダ 中田 秀幸 | 男 | 67 | 農業 | S59年4月～H24年3月 H5年7月20日～ | 作新学院 農地利用最適化推進委員 | 水稲 | 300a | 櫻野 | 推薦していない | 櫻野行政区長会 | 小山 研一 | 自治会活動 | - | 桜野1～6区の正副各区長 | 経験豊富で意欲的、最適な方です。 |
| セキ 関 寿仁 | 男 | 65 | 農業 | S58年4月1日～R3年3月31日 R3年4月1日～ R6年4月1日～ | 平田機工株式会社 機械設計勤務 就農 喜連川土地改良区 理事 | 水稲 | 143a | 葛城 | 推薦していない | 葛城行政区 | 大輪 清二 | 行政区の運営 | 29 | 葛城行政区に住所を有する者 | 喜連川土地改良区理事会からの指名を受け、委員に適任であることから推薦いたします。 |
| コバヤシ 小林 浩 | 男 | 63 | 農業 | 平成7年4月1日～8年3月31日 | 狭間田中央区長 | 水稲、露地野菜 | 400a | 狭間田、狭間田中央、元組 | 推薦していない | 狭間田区長 | 浜名 亘夫 | 自治会の運営 | - | - | 小林氏は、長年農業に従事して、農業の知識も高く、区域の未来についても高い関心もあり、意欲的に取り組んでおり区域の大区長を歴任してリーダー的存在です。 |
| ソエタ 添田 忠 | 男 | 72 | 農業 | S57年4月1日～ H7年4月1日～ | 歯科技工所 農業に従事 | 水稲 | 240 | 松山、上組 | 推薦していない | 松山行政区長 | 吉澤 佳哲 | 自治会運営 | - | - | 被推薦者である添田忠氏は、昭和57年4月に松山地区自宅にて歯科技工所を開業する傍ら、稲作を中心とする農業にも従事していましたが、平成7年度からは、専業農家として熱心に農業に取り組んでおられます。 また、長年に渡り行政区内の様々な役員や農協、土地改良区の総代なども歴任しており、そのような立場を経験するなかで、本地域における高齢化や農業後継者不足等による離農者の増加、耕作放棄地の増加などの問題を認識されていました。 一方で、本地域において、新たに担い手となり意欲的に取り組む若い世代の中核的農家も一部育ってきている状況も把握しており、農地の集約化・遊休農地の軽減にも寄与していると感じておられます。 つきましては、前述した知見を活用いただき、農地等の利用の最適化を推進する本委員として相応しい人物であることから、松山・上組行政区として推薦致します。 なお、現在従事している農業は、妻の協力を得られることから、推進委員を引き受けた場合も支障は生じないとの返事をいただいております。 |

農地利用最適化推進委員の募集に係る申込者の情報(受付順)

【令和8年3月13日現在】

団体による推薦

| 被推薦者(推薦を受ける者) | | | | | | | | 推薦者 | | | | | | | |
|-------------------|----|----|----|--|------------------------------------|---------------|-------|----------|---------------|-------|--------|----------|----------|-------------------|---|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 推薦区域 | 農業委員への推薦・応募状況 | 名称 | 代表者の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員の数(人) | 構成員の資格・要件 | 推薦理由 |
| | | | | 年月日 | 職名・経歴等 | 営農類型 | 耕作面積等 | | | | | | | | |
| フクダ シゲハル 福田 重治 | 男 | 63 | 農業 | H2年12月11日～R5年3月31日 R5年4月1日～ R7年4月1日～ | JALおのや勤務 (株)グリーンさくら社長 就農 | 露地野菜、 施設野菜 | 8 | 横町、新町、大野 | 推薦していない | 横町行政区 | 石井 秀樹 | 自治会の運営 | 400 | 横町行政区に住 所を有する者 | 福田重治氏は、横町公民館長として在任しており、客観的に物事を分析し常に公平な判断を行うなど、地域の信頼を集めている方 であります。 また、福田重治氏は20年以上農業に関する仕事をし、農業に対する知識も豊富で農業に対し、意欲的・情熱的に取り組んでおり、以前から農業者の高齢化や担い手不足により、市内の農地の遊休化が進んでいることに危機感を抱き、現状改善に強い意欲を示す等農業に取り組み地域のリーダー的存在です。 現在、福田重治氏は、個人で農業を営営していますが、長男が施設ハウスにて同じ作物で就農していることから、福田重治氏が委員に任命されたとしても、自らの農業経営に支障をきたすことなく、委員の業務を遂行できる状況にあります。 以上のように福田重治氏は、(行政区等)役員会の検討、協議の結果、委員に適任であると決定したことから推薦いたします。 |